

2024年10月期 第3四半期 IRミーティング資料

2024/9/17

2024年10月期 第3四半期実績

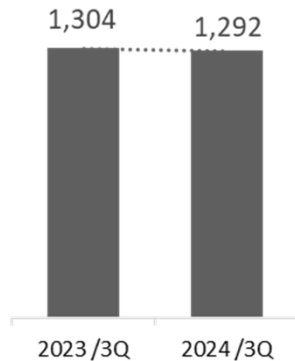
(単位：億円)

	2023 /3Q 実績	2024 /3Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	1,304	1,292	▲12	▲1%
売上総利益	302	298	▲5	▲2%
営業利益	141	123	▲18	▲13%
経常利益	187	169	▲18	▲9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	145	128	▲17	▲11%

参考：平均レート ¥/ドル=137 ¥/ドル=152

売上高

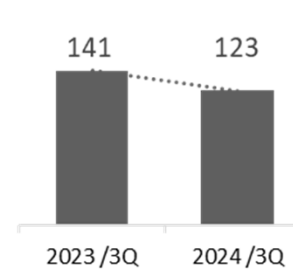
前年同期比 ▲12 億円



- (-) 農薬の世界的な在庫圧縮基調の継続による出荷減
- (+) 半導体需要の回復によるビスマレイミド類の大幅な出荷増

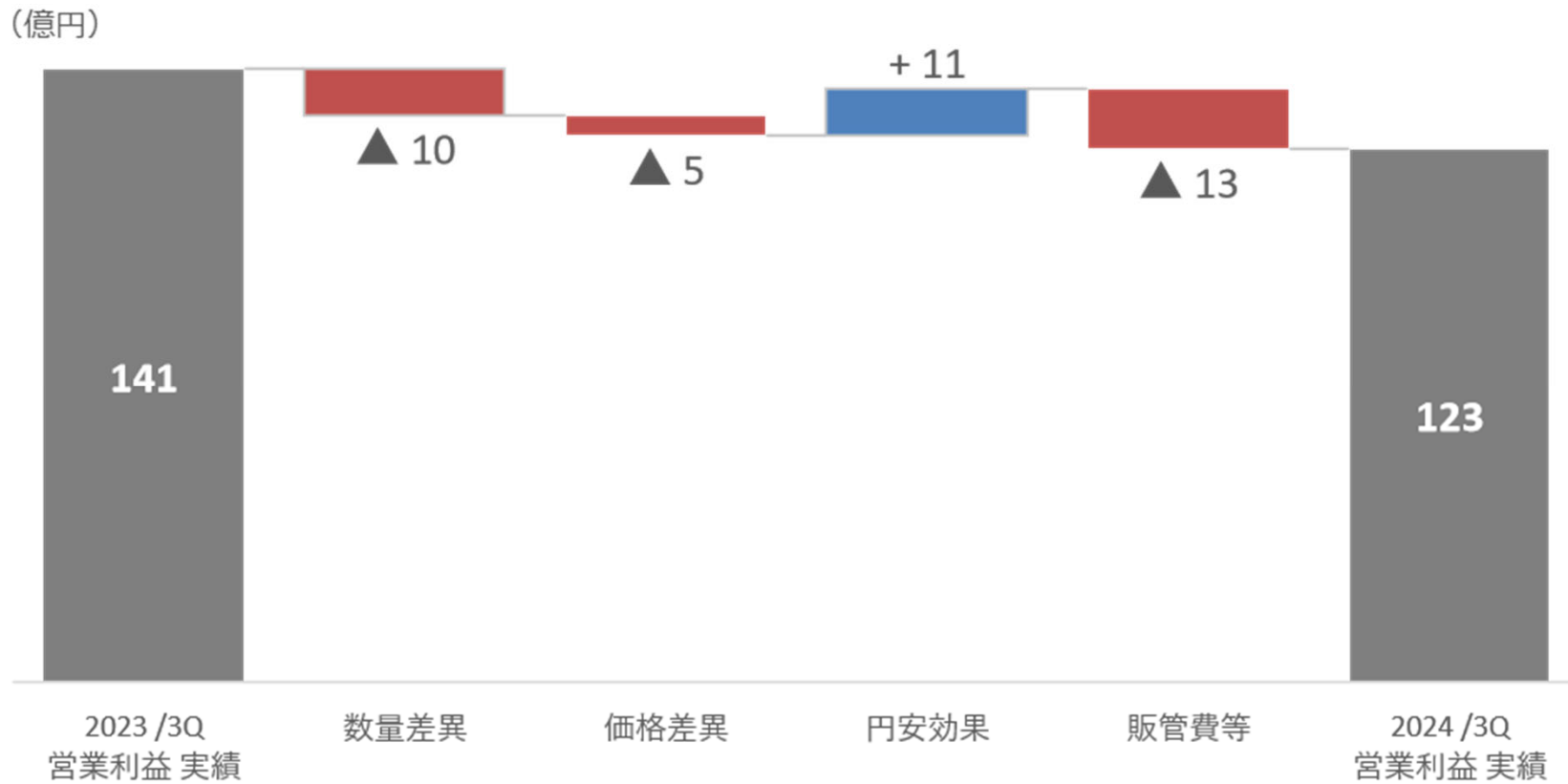
営業利益

前年同期比 ▲18 億円



- (-) 農薬事業の減収
- (-) 販管費の増加

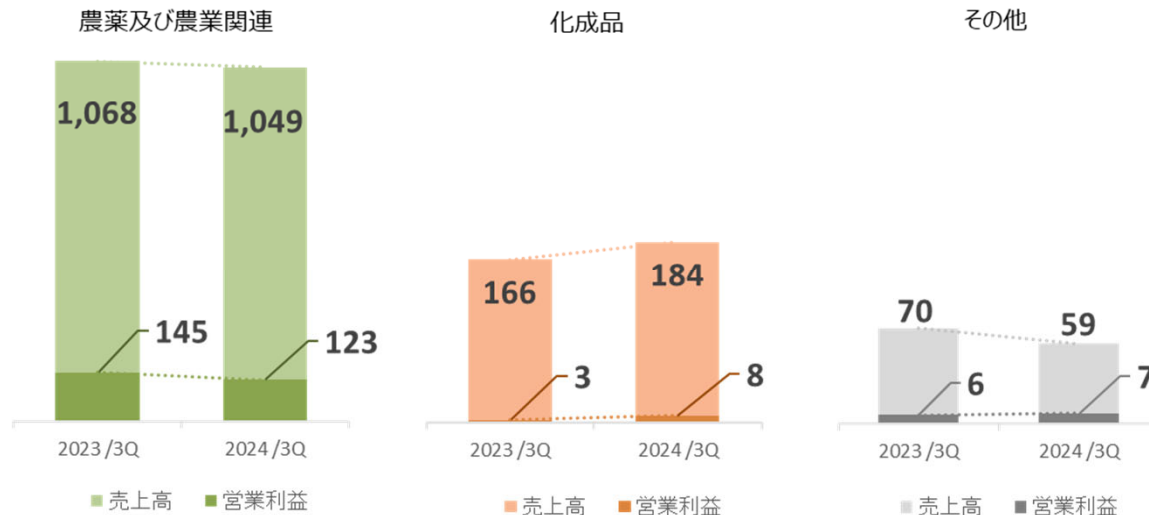
営業減益の要因



2024年10月期 第3四半期実績 (セグメント別)

(単位：億円)

	2023 /3Q 実績	2024 /3Q 実績	前年同期比	増減率
売上高	1,304	1,292	▲12	▲1%
農薬及び農業関連	1,068	1,049	▲19	▲2%
化成品	166	184	+18	+11%
その他	70	59	▲11	▲16%
営業利益	141	123	▲18	▲13%
農薬及び農業関連	145	123	▲22	▲15%
化成品	3	8	+5	+147%
その他	6	7	+1	+22%
(調整額)	▲13	▲15	▲2	-



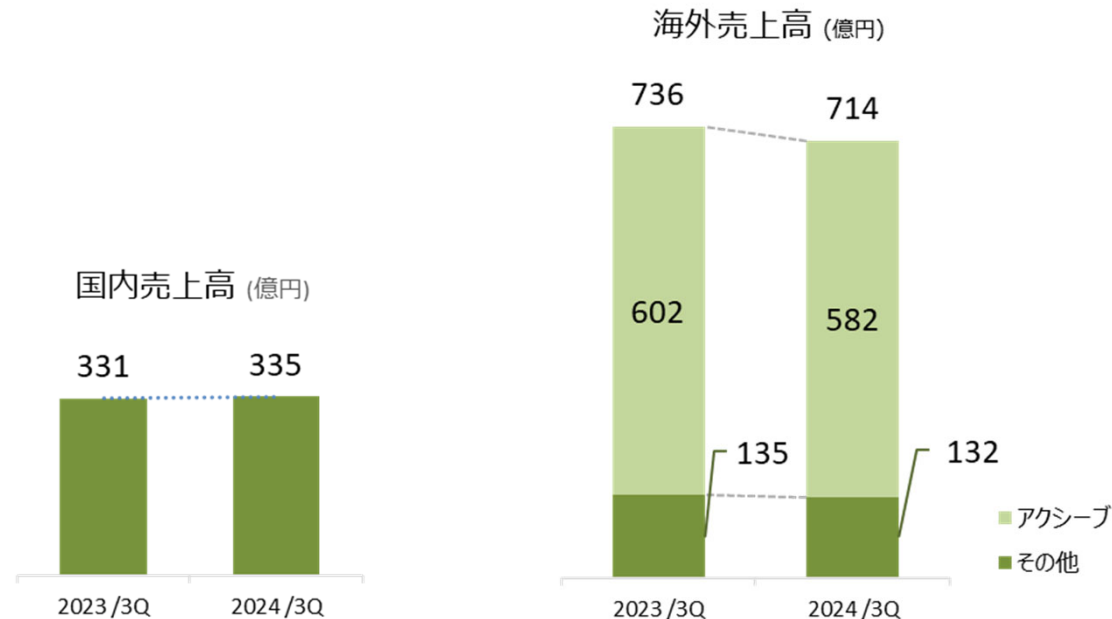
農薬及び農業関連事業

国内

- 水稲用除草剤「エフィーダ剤」が順調に推移
- 水稲用殺菌剤「ディザルタ剤」を含む箱処理剤も順調に推移
- 一部製品の終売を見越した販売先の在庫圧縮

海外

- 世界的な在庫圧縮基調の継続



化成品事業

塩素化

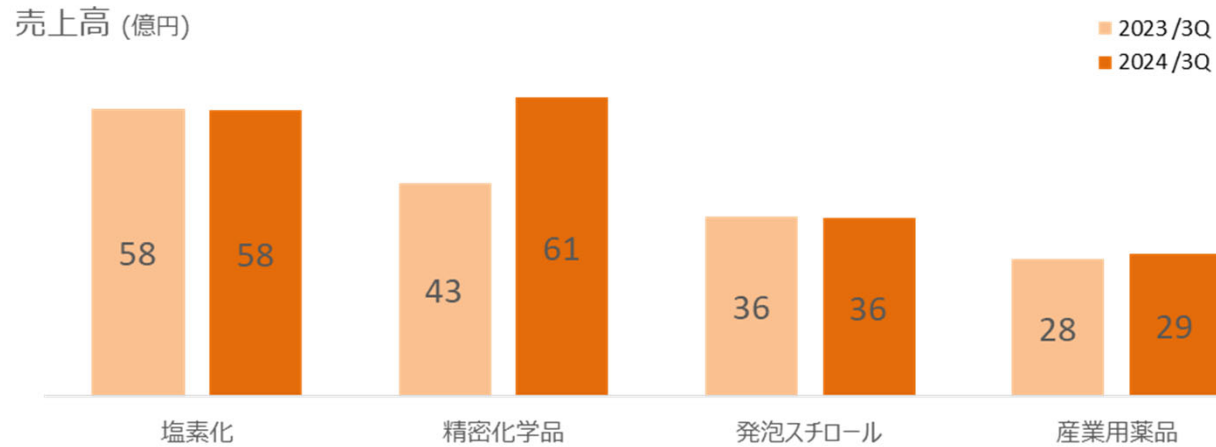
- 前年並みで推移

精密化学品

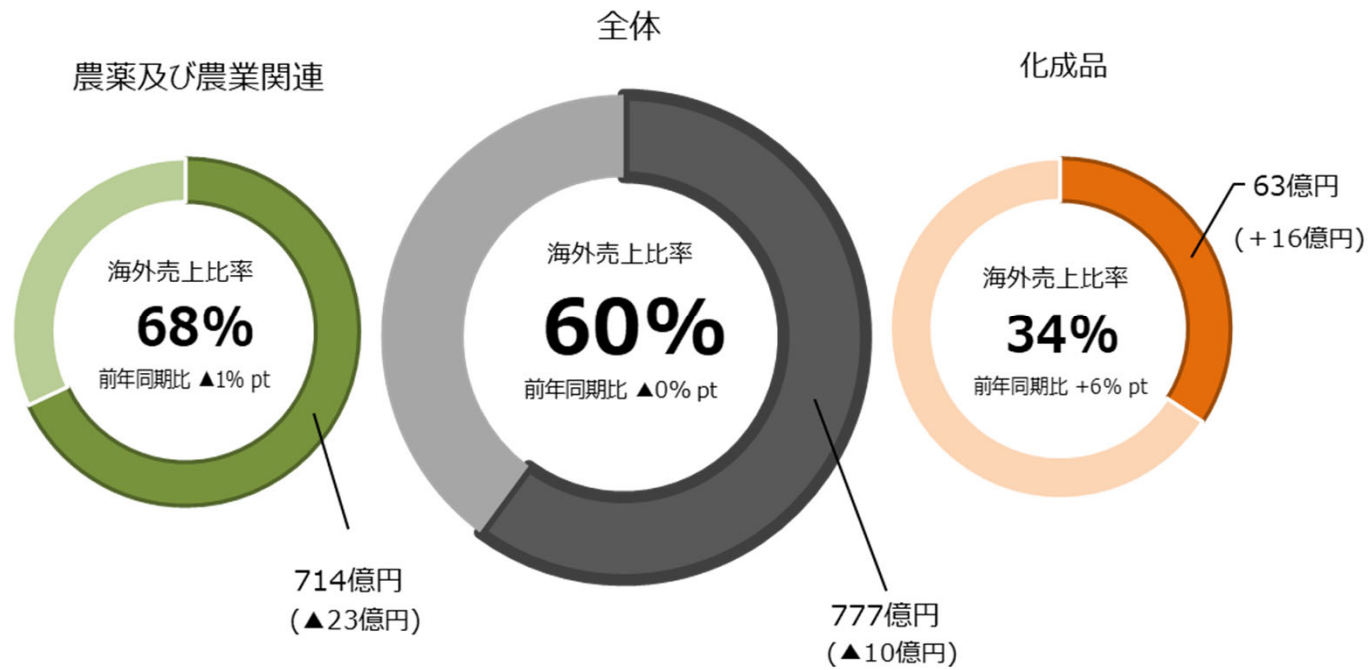
- 半導体需要の回復により、ビスマレイミド類の出荷が大きく増加

発泡スチロール・産業用薬品

- 前年並みで推移



2024年10月期 第3四半期実績（海外売上高比率）



2024年10月期 第3四半期実績 総括

事業全体

売上高	1,292 億円	(前年同期比 ▲12億円)	・ アクシーブの減収
営業利益	123 億円	(前年同期比 ▲18億円)	・ 化成品事業の増収
経常利益	169 億円	(前年同期比 ▲18億円)	・ 持分法投資利益減も、為替差益増により減益幅縮小

農薬及び農業関連事業

売上高	1,049 億円	(前年同期比 ▲19億円)	・ 世界的な在庫圧縮基調の継続による出荷減
営業利益	123 億円	(前年同期比 ▲22億円)	

化成品事業

売上高	184 億円	(前年同期比 +18億円)	・ 半導体需要の回復により、ビスマレイミド類の出荷が大きく増加
営業利益	8 億円	(前年同期比 +5億円)	

その他事業

売上高	59 億円	(前年同期比 ▲11億円)	・ 印刷事業、物流事業が堅調に推移
営業利益	7 億円	(前年同期比 +1億円)	・ 建設業の繰越工事高が前年同期に比べ減少 ・ 建設業における収益性の高い大型工事の出来高の計上による増益

2024年10月期 通期業績予想（前期比）

（単位：億円）

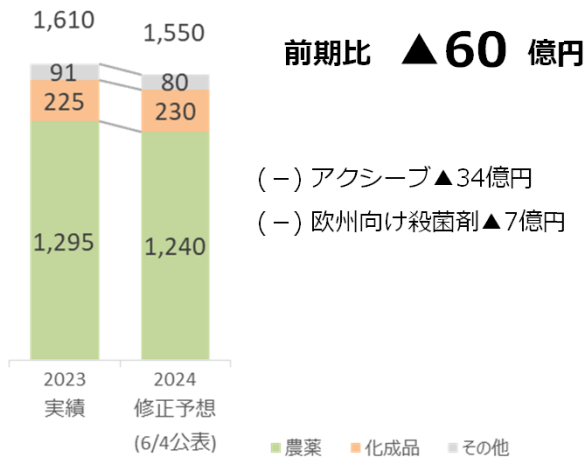
6/4公表値を据置	2023 実績	2024 修正予想 (6/4公表)	前年比	増減率
売上高	1,610	1,550	▲60	▲4%
農薬及び農業関連	1,295	1,240	▲55	▲4%
化成品	225	230	+5	+2%
その他	91	80	▲11	▲12%
営業利益	141	100	▲41	▲29%
経常利益	241	155	▲86	▲36%
親会社株主に帰属する当期純利益	180	120	▲60	▲33%

参考：平均レート

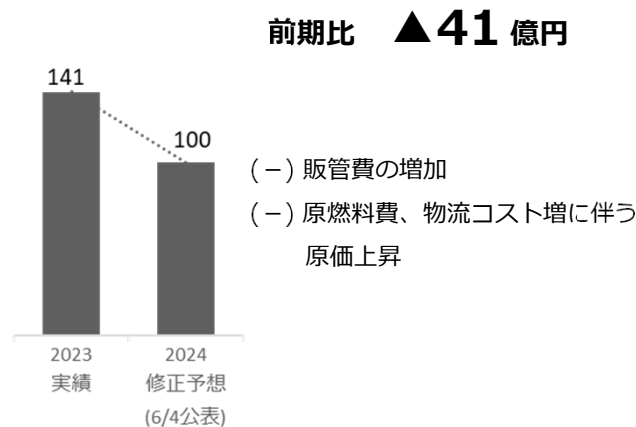
¥/ドル=140

¥/ドル=145

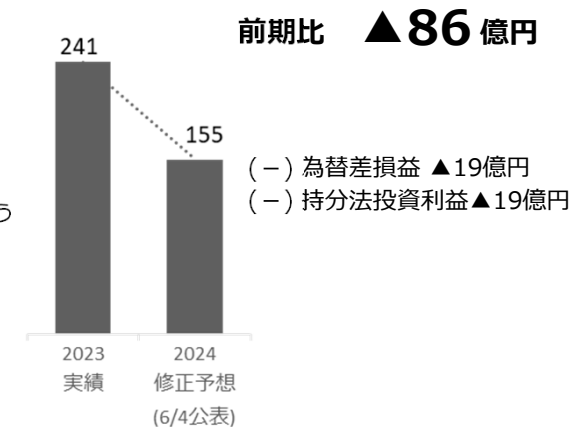
通期売上高



通期営業利益



通期経常利益

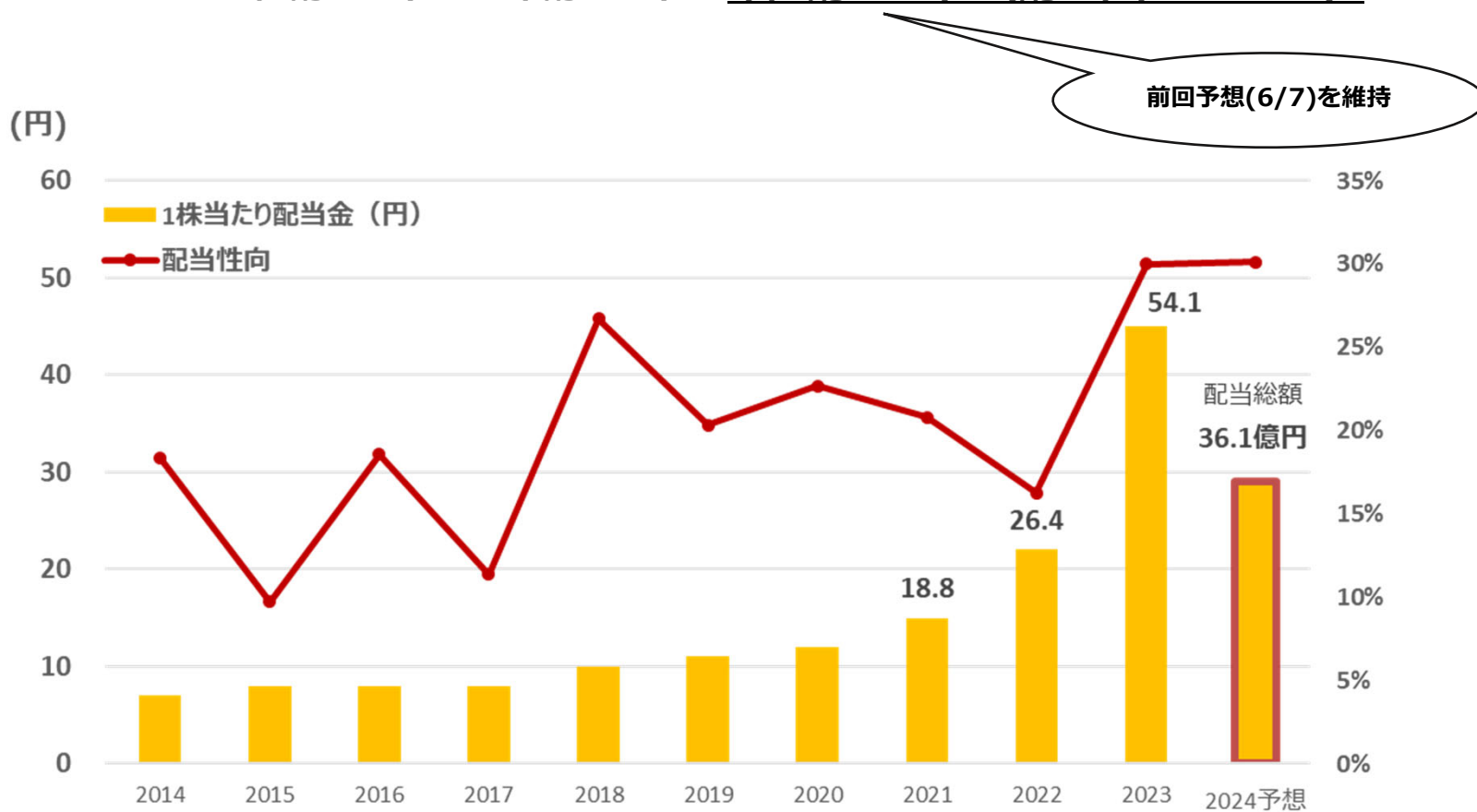


株主還元施策

配当性向30%以上を目標

2024年度 配当予想 (6/7修正発表)

中間配当10円+ 期末配当20円 = 年間配当30円 (配当性向 30.1%)



研究開発費・設備投資・減価償却費

研究開発費

2023年度実績 **62**億円 → 2024年度見込 **72**億円
(主な内容) 海外開発への取り組み強化、最先端技術の活用による研究推進

設備投資

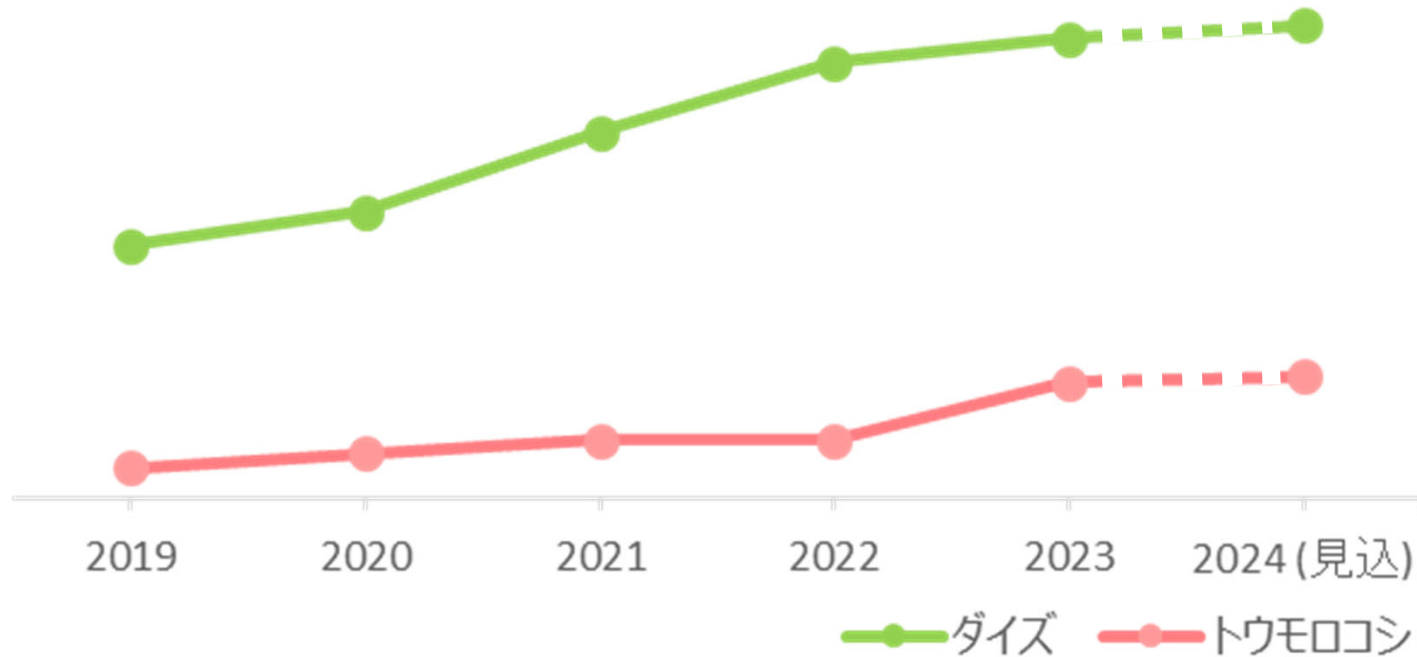
2023年度実績 **87**億円 → 2024年度見込 **102**億円
(主な内容) 老朽化した生産設備の更新、化成品関連のプラント・設備の新設

減価償却費

2023年度実績 **44**億円 → 2024年度見込 **51**億円
(主な内容) 新化学研究所 (ShIP) や生産設備への設備投資に伴う減価償却費の増加

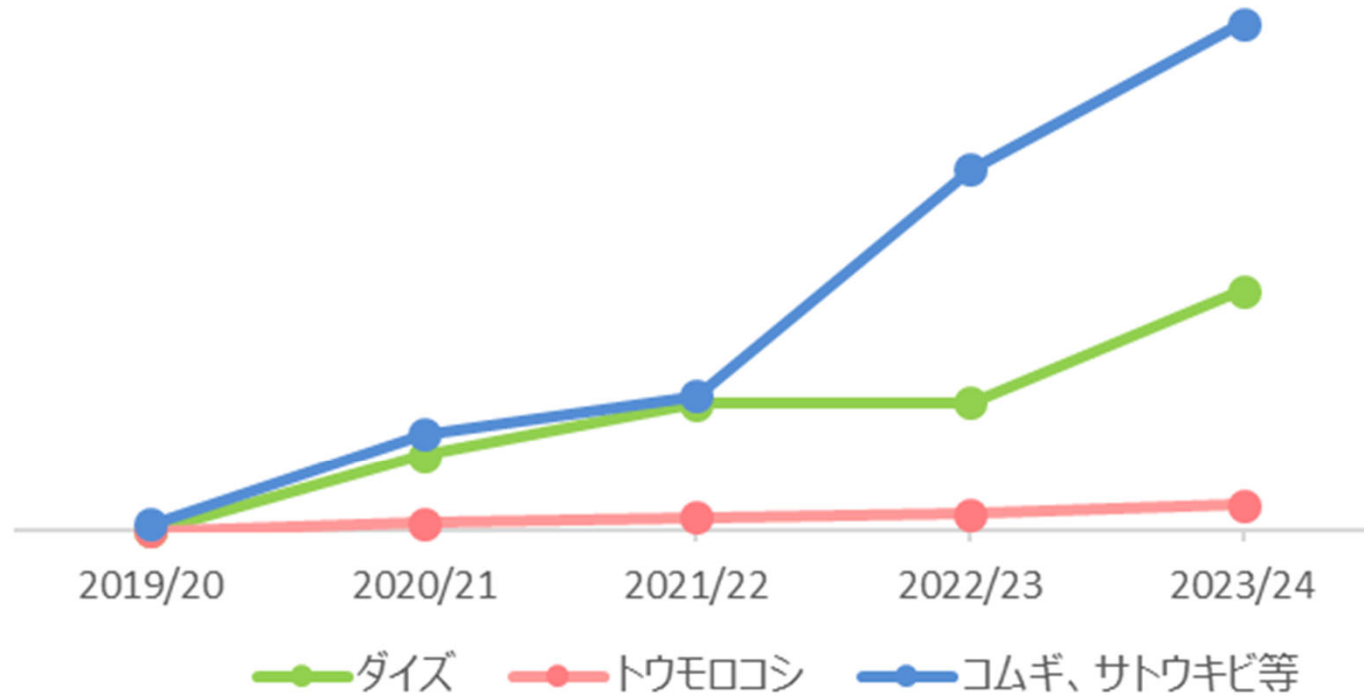
アクシーブ使用面積の推移①

米国におけるアクシーブの使用面積（当社調べ）



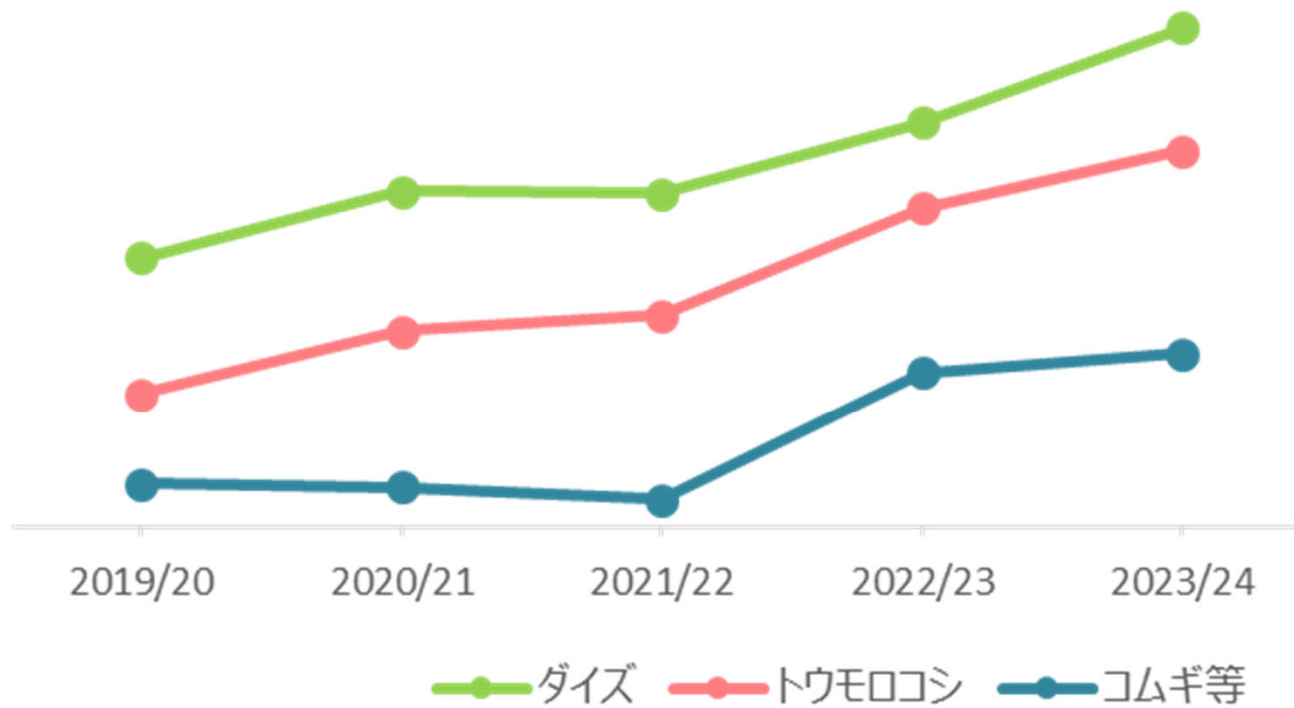
アクシープ使用面積の推移②

ブラジルにおけるアクシープの使用面積（当社調べ）



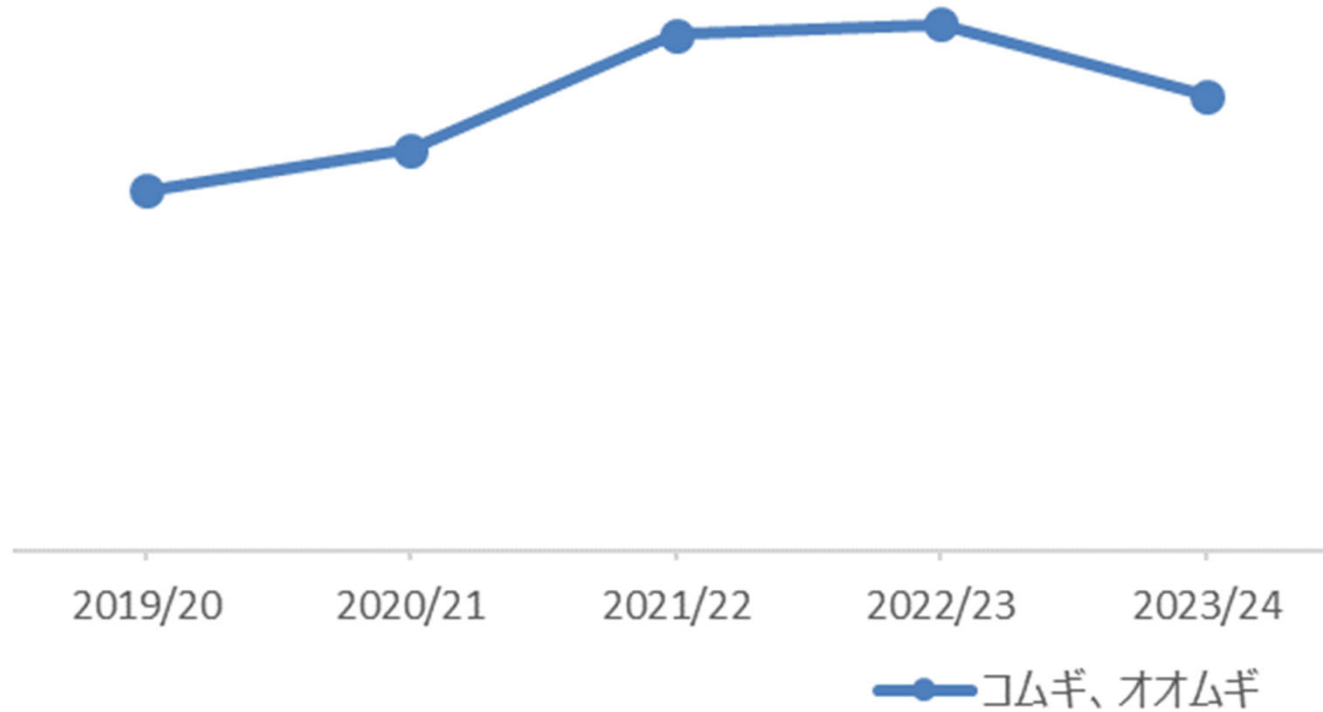
アクシープ使用面積の推移③

アルゼンチンにおけるアクシープの使用面積（当社調べ）



アクシープ使用面積の推移④

オーストラリアにおけるアクシープの使用面積（当社調べ）



ADAMA Australia Pty Limited を 特許権侵害で提訴 → **解決へ**

オーストラリア連邦裁判所の最終決定内容（7/19）

✓ ADAMA Australiaが

オーストラリアにおける本特許の有効期間中

同社が製品あるいは本特許の特許請求の範囲記載の方法により

製造された**ピロキサスルホン製品の販売、使用、輸入等**を

当社の許可なく行わない旨の確約

ピロキサスルホン
(一般名)

||

アクシーブ
(ブランドネーム)

ジェネリック（違法品）対策（オーストラリア②）

 クミアイ化学工業株式会社

Kenso Corporation (M) Sdn. Bhd. および Kenso Agcare Pty Ltd.を 特許権侵害で提訴

2024年7月12日

クミアイ化学工業株式会社

各位

ピロキサスルホン製品に対する特許権侵害訴訟手続きの開始について

クミアイ化学工業株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：高木誠、以下、「当社」）は、ピロキサスルホンを含有する除草剤「Sakura[®] 850 WG」を製造しています。「Sakura[®] 850 WG」は長年にわたりオーストラリアの市場において使用され、高い信頼を得ています。また、当社は、ピロキサスルホンに関わるオーストラリアを含む世界的な特許ポートフォリオを保有しています。

今般、クミアイ化学は、Kenso Corporation (M) Sdn. Bhd.およびその関連会社であり、オーストラリアにおけるピロキサスルホンを含有する製品「Kudos[®] 850 WG」の販売会社である Kenso Agcare Pty Ltd.対し、当社が保有する知的財産権に基づき、2024年7月5日付で特許権侵害訴訟を提起しましたので、お知らせいたします。

安徽久易农业股份有限公司 および 安徽久凱農化有限公司を 特許権侵害で提訴

2024年7月29日

クミアイ化学工業株式会社

各位

中国におけるピロキサスルホン製品に対する 特許権侵害訴訟手続きの開始について

クミアイ化学工業株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：高木誠、以下、「当社」）は、当社が保有する知的財産権に基づき、2024年6月28日付で、安徽久易农业股份有限公司およびその子会社である安徽久凱農化有限公司（それぞれ、以下「Anhui Jiuyi」および「Anhui Jukai」）に対し、特許権侵害訴訟を提起しましたので、お知らせいたします。

本訴訟において当社は、Anhui Jiuyi および Anhui Jukai に対し、除草剤ピロキサスルホンの製造に必要な重要中間体についての当社保有特許の侵害行為を停止するよう、裁判所に求めています。加えて、当社は本件に関する損害についての補償も求めています。

中国における当社製造特許の有効性を確認

2024年7月23日

クミアイ化学工業株式会社

各位

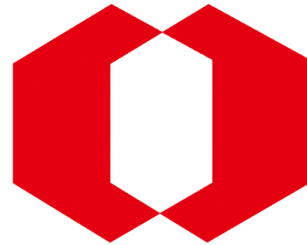
中国におけるピロキサスルホン製造特許の有効性について

クミアイ化学工業株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：高木誠、以下、「当社」）は、中国における当社保有の特許権（ZL200580010635.9）に対する無効審判が請求されましたが、中国国家知識産権局（以下、CNIPA）より同特許権が有効であるとの決定を受領したことを、お知らせいたします。

本特許「5-ヒドロキシ-4-チオメチルピラゾール化合物の製造方法」は、当社の先進的除草剤ピロキサスルホンの製造における重要な中間体の製造工程を包含しています。

本特許に対する無効審判は、中国企業である Lianhetech (Dezhou) Co. Ltd.によって請求されたものであり、当該無効審判は、同社が使用する中間体製造方法が本特許の特許請求の範囲に該当すると考えられることについて、当社が同社に対して、特許権行使手続を昨年開始したことに対してなされたものです。当該特許権行使手続は現在も係属中です。

自然に学び 自然を守る



クミカ

本資料に記載されている業績予想および将来の予想などに関する記述は、資料作成時点で入手された情報に基づき、弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる可能性があります。

万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんこと、ご承知おきください。

弊社および弊社関連会社以外に関する情報は、公知の情報に依拠しており、情報の正確性などについて保証するものではありません。

<お問い合わせ先>
クミアイ化学工業株式会社
経営管理本部 経営企画部 企画課

弊社IRサイトもご覧ください <https://ir.kumiai-chem.co.jp/>